

オプトアウト用情報公開文書 2（複数施設研究）

1. 研究課題名	近畿川崎病研究会における川崎病急性期治療成績に関する後向き観察研究
2. 研究の対象	2016年1月～12月に市立貝塚病院小児科を受診し、川崎病と診断され、入院治療を受けた小児
3. 研究目的・方法	<p>【目的】平成24年に改訂された川崎病急性期治療ガイドラインでは、標準的な大量ガンマグロブリン療法への不応予測スコアでハイリスク群を選別しステロイド薬の初期使用が記載された。この新しいガイドライン下での川崎病急性期治療の実態と冠動脈後遺症等予後を把握し、ステロイド薬と冠動脈瘤発生との関連について検討する。</p> <p>【方法】川崎病全国調査に登録された症例のうち、近畿川崎病研究会より指定された、2016年登録症例について調査票を記入し提出する。</p> <p>【期間】施設承認～ 2023年 2月 6日（口延長の可能性あり）</p>
4. 研究に用いる試料・情報の種類	<p>試料：利用しない</p> <p>情報：病歴、患児の診療過程で取得、記録された診療情報、経過観察後の転帰などの情報</p>
5. 外部への試料・情報の提供	<p>個人情報を匿名化したうえで、近畿川崎病研究会（代表施設：和歌山県立医科大学小児科）へ調査項目を記入した調査票を提供します。</p> <p>対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。</p>
6. 研究組織	<p>研究組織：近畿川崎病研究会</p> <p>研究実施機関：（代表）和歌山県立医科大学小児科 鈴木啓之</p> <p>既存試料・情報の提供のみを行う機関</p> <p>京都府立医科大学小児科 池田和幸</p> <p>関西医科大学小児科 吉村健</p> <p>京都第二赤十字病院 小林奈歩</p> <p>地域医療機能推進機構大阪病院小児科 泉井雅史 など</p>
7. お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年2月までに下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>研究責任者 市立貝塚病院 小児科・森口直彦</p> <p>〒597-0015 大阪府貝塚市堀3丁目10番20号</p> <p>TEL:072-422-5865 FAX:072-439-6061</p> <p>研究代表者：和歌山県立医科大学小児科 教授 鈴木啓之</p>